

5. テストのマネジメント

5.1. テスト組織

独立性は様々

自分 -> 同じ会社 -> 別会社

基本的には、各テストレベルすべてを独立したチームが行うのが良い

- unbiased, 仕様の検証が可能
- 隔絶、責任感は低い、避難されがち

テストリーダー

- 管理者が行う。
- テストの計画、テスト活動のモニタリング、コントロール
- 時間、コストの見積もりや、基本的なマネジメント

テスト担当者

- 計画のレビュー、テストの実装、実行

5.2 テスト計画作業と見積もり

テスト計画作業

- テストレベルに応じて個別に作成
- 連続的な活動であり、全てのプロセスや活動で実施

テスト計画策定

- テストの目的を識別。
- テストレベル、終了基準などを定義
- ソフトウェアサイクルとテスト活動を統合
 - KSWの評価が間に合うように開発を進めている、というのと同じ話？
- スケジューリング、コスト見積もり

開始基準

- テスト環境、データ、コードの可用性

終了基準

- カバレッジなどの評価指標による徹底度
- 欠陥密度や信頼性の見積もり
 - これはそういうデータが有る？経験？
- スケジュール

テスト工数見積

- メトリクスベース
 - 類似プロジェクトでの同じメトリクスから判断

- 例えば??
- 経験ベース
- プロダクトの特性、開発プロセスの特性によって決まる

テスト戦略、アプローチ

- テスト戦略を実装すること？ テスト計画とテスト設計の中で定義？
- 分析的アプローチ
 - 緊急度の高い順にテストしていく
- モデルベース
 - 故障率（信頼度成長モデル)などを利用
 - いろんな物件のグラフ見たいです。
- 方法論的アプローチ
 - フォールトをベースにしたもの
 - チェックリストをベースにしたもの
 - 品質特性をベースにしたもの。
- プロセス準拠アプローチ
 - アジャイル方法論や、採用している開発プロセスに準拠する
- 動的で経験則に基づいたアプローチ
 - 探索的テスト
- コンサルテーションベース
 - チーム外のエキスパートからの助言
 - こんな人いるの？

5.3 テスト進捗のモニタリングとコントロール

テスト進捗モニタリング

- テスト活動の可視化

テストメトリクス

- テスト準備完了率
- テスト環境準備完了率
- テストケースの実行率
- 欠陥情報
- カバレッジ

テストレポート

- 備忘録、メトリクス

テストコントロール

- 得られたテスト結果から、テスト計画を是正
 - テストモニタリングの結果
 - 何らかのリスクが発生

5.4 構成管理

- ソフトウェアのバージョン情報とテスト結果を紐づけ、トレーサビリティを担保する

5.5 リスクとテスト

プロジェクトリスク

- プロジェクトのマネジメントやコントロールに関連するリスク
- プロジェクト計画やテスト計画を遂行できないリスク

プロダクトリスク

- 開発するソフトウェアやシステムに直接的に関連するリスク
- 品質に関するリスク
 - 機能要求や非機能要求を満たしていない
- どの部分を強化的にテストするかを決めるのに使う

5.6 インシデント管理

インシデント

- その発生が自明でない何らかの事象

インシデントレポート

- 問題を解決、抽出するために必要な情報
- 日時、バージョン、発見者、緊急性などを記述 - これJIRA？